

コース 36 あもうしつげん 天生湿原・もみぬかやま 粨糠山・さんぼういわだけ 三方岩岳

リーダー CL K/T SL M/T
 実施日 平成24年 10月 13, 14日 (土, 日) 天候 晴れ及び快晴
 参加者 25 (男性 3 女性 22)
 グレード B上
 コースポイント

ポイント	到着時間	出発時間	備考
13日 秋葉区役所前		4:55	米山・有磯海SAから東海北陸道
天生峠P	9:30	9:45	天生湿原, ブナ林, 急登を経て山頂へ
粨糠山	12:00	12:15	山頂は狭いが猿ヶ馬場山, 人形山を左右に見る
天生峠P	14:45	15:00	下りは中央のカラ谷コース, 桂の巨木林
白川郷	15:20	16:30	全員で城山展望台, 白川郷内を班散策
赤尾館 (五箇山)	16:55		白川郷で少し時間不足, 5時前に宿に
14日 赤尾館		7:10	朝食は7時の所6時半に出してもらおう
(白山スーパー林道) 三方岩P	8:10	8:30	スーパー林道ゲート開き8時で10分待つ
三方岩岳	9:30	10:30	1時間足らずで山頂
ふくべの大滝	11:50	12:05	大滝展望所から上り返したP広場で昼食
菅沼合掌造り集落	14:20	15:00	白川郷展望所に立ち寄り菅沼集落へ
秋葉区役所前	19:05		五箇山ICから高速へ

山行等概要 (幹事のコメント)

- 時期は, 天生湿原上方のブナの原生林と三方岩山の紅葉に合わせて設定した。しかし, 今年の暑い夏のためブナの原生林の紅葉 (黄葉) は一週間遅れていて残念だった。
- 向かい合わせの山なのに三方岩岳の紅葉 (特に登山途中) は素晴らしかった。これは樹相の違いによるものか。しかし, 山頂一帯の本来の燃えるような紅葉は今いち。
- 2日目の眺望は, 正に百%以上の360°の大展望を満喫した。近景には, おいするがたけ 笈ヶ岳, 大笠山, 昨日登ったり眺めたりした粨糠山, 人形山, 猿ヶ馬場山などの飛越の名山。中景には, 登山道まで見えそうな加賀白山の全容。遠景には, 剣岳から乗鞍までの北アの全景。さらには御岳山まで見え, これだけの眺望は, この山でもなかなかないのでは。
- 場合によってはと考えていた野谷荘司山へは25人の大集団のガレ尾根通過は危険と判断して, すぐ隣の飛騨岩往復にとどめた。
- そのため, 白川郷に続いて庄川の大渓谷を見下ろし, また三方岩岳の景観を反対方向から眺められ, アルプスの眺望もさらに広がってよかった。



三方岩岳山頂 1,736m

「天生湿原・靱糠山・三方岩岳山行に参加して」

(834)Y/S

今回の山旅は盛りだくさんで時間を追って書くのは私の記憶力では無理なので、感動した事柄を列挙することをお許し願いたいと思います。

天生湿原・靱糠山コース

天生峠10時30分頃出発してどこか寂しげな秋色の木道の湿原をしばらく歩く。いよいよ階段の多いブナ探勝路だ。そして頂上まで又階段である。そこは四百数十段だと数えた人がいた。菩提寺山の階段は五百数十段だからそれより少ないがかなり時間がかかった。12時近く山頂に到着。そこは狭く人でごったがえしていた。右手、谷の向こうは案内人がいないと登れない300名山の猿ヶ馬場山、一方反対側左手少し向こうに見えるのが、やはり300名山の人形山だという。正面遙か彼方には北アルプスが見えるはずだったが、この日は残念ながら霞んで見えなかった。頂上には長いをせず、下り始める。ちょっとしたスペースの所で昼食。すこし寒いので雨具を羽織る。分岐を右に曲がり下りはカラ谷登山道を歩く。上りのコースより急で歩きにくい。上りで使わなかったことにリーダーの配慮を感じる。道が平坦になると根っこで大きな苔むした岩を抱いた巨木や根がおおきな空洞になっている巨木が目につく。それからカツラの巨木群だ。特に5本並んだカツラは大きくて「カツラ門」と呼ばれている所だ。葉がすっかり落ちて枝がクネクネと空に向かって様子はまるで「宮崎駿」のアニメの神秘の原生林の森を思わせる。あまり大きくて写真に納まらない。巨木と別れて14時40分頃峠の駐車場に着く。



天生湿原上方のカツラの巨木林、周囲は一面にブナの原生林に覆われている。

三方岩岳コース



深いV字谷につけられた白山スーパー林道ゲート開門の待ち時間を含め小一時間で登山口に八時半頃到着。1時間程で三方岩岳山頂に着く。かなり広い山頂だが人でいっぱいだ。お天気は良いし北アルプスが手軽に一望できるので人気は頷ける。15分程眺望を堪能して、

三方岩岳山頂 -飛越の名山をバックに-
バック中央が大笠山(三百名山)、その左・
笈ヶ岳(二百)、その手前・瓢箪山、右手2つ
のピークを隔て赤摩木古(アカマツコ)山
で三百の大門山はその陰か

我々はその先の馬狩荘司山の手前を目指す。片側が切れ落ちている道を注意しながら30分程で到着。ここまで来た理由が分かった。眺望が素晴らしいのだ。真ん中にドントした薬師岳、その左手に立山連邦、剣岳と並び、そして薬師を挟んで水晶・鷲羽岳が、更には槍ヶ岳・穂高連峰と続く。とりわけ8月に挑戦した薬師岳のどっしりした大きさに感動する。苦しかったことなどすっかり忘れて参加して良かったと改めて思った。

下りは谷の向こうの尾根の斜面の一面の紅葉を愛でながら11時過ぎ登山口に到着。

世界遺産

白川郷は30年？前に行ったことがある。合掌作りに圧倒された記憶しかない。

初日の13日15時半頃展望台に着いて感動！！。というのは白川郷の全貌が見渡せたからだ。テレビで観たり写真家が撮った写真そのままの景色が広がっていたからだ。白い雪景色の中、家々の橙色の灯りが漏れている幻想的な場面はここから撮ったのか？

その後街の中に入り班ごとに散策。以前来たときは5階建ての家の中を見学した記憶があるが、どの家だったのだろうか？囲炉裏のスス



城山展望台からの白川郷（萩町）全景の俯瞰



瓢箪（ふくべ）の大滝前の展望所にて瓢箪山から下る瓢箪谷へ落下するのがふくべの大滝

で黒光りしていて上の階の方は主の居ない蚕の棚があったように思う。その時よりなんだか街全体が垢抜けしたような印象があるが世界遺産になったからか？その意味で二日目の14日に訪れた五箇山の菅沼合掌集落の方は観光客も少なく素朴な感じで良かった

その他「ふくべの大滝」や「白川郷展望台」にも寄って充実した山旅だったと思います。

盛りだくさんの行程を満喫できました。

計画くださったリーダーに感謝いたします。ありがとうございました。

そしてご一緒の皆さんお世話になりました。